

# いろは呑龍<sup>どんりゅう</sup>トンネル南幹線<sup>みなみかんせん</sup>の起工式について

平成26年6月17日  
京都府文化環境部水環境対策課  
075-414-5211

京都府では、桂川<sup>かつらがわうが</sup>右岸地域（京都市、向日市、長岡京市の一部）の度重なる浸水被害から地域を守る地下トンネル「いろは呑龍<sup>どんりゅう</sup>トンネル」の整備を進めているところです。

この度、南幹線<sup>みなみかんせん</sup>トンネル発進立坑工事の現地着手に当たり、下記のとおり京都府主催の起工式を開催しますので、お知らせします。

## 記

- 1 名 称 いろは呑龍<sup>どんりゅう</sup>トンネル南幹線<sup>みなみかんせん</sup>起工式
- 2 日 時 平成26年7月22日（火） 午前10時から
- 3 場 所 洛西浄化センター内（長岡京市<sup>しょうりゅうじひのくち</sup>勝竜寺樋ノ口1）
- 4 式典内容 式辞、来賓祝辞、祝電披露、鍬入れ式
- 5 主催者 京都府（知事出席予定）
- 6 出席予定者 知事、府会議員、国会議員、国土交通省、京都市長、向日市長、長岡京市長、関係市議会議員、地元関係者 他
- 7 その他 当日は、記者席を設けており、撮影は可能です。

## <参 考>

### ○事業概要

	内径 (m)	延長 (m)	対策量(m <sup>3</sup> )		事業期間	供用開始	事業費	
			貯留	放流				
北幹線	第1号管渠	8.5	935	54,000	48,450	H7～H13	H13(供用中)	約250億円
	第2号管渠	3.0	2,864	53,000		H14～H23	H23(供用中)	
	第3号管渠	6.1	1,120					
南幹線	3.5	4,260	82,750		H23～H35	H32(暫定) H35(完成)	約200億円 (予定)	
合計	—	9,179	238,200		—	—	約450億円	

### ○事業の目的

桂川右岸地域は、古くから水害に苦しめられてきた地域で、高度経済成長期以降は市街化の急速な進展に伴い、多くの雨水が河川や水路に流れ込み浸水被害が頻繁に発生するようになりました。このため京都府では、雨水を一時的に地下トンネルに貯留し浸水被害を防止する「いろは呑龍トンネル」の整備を、平成7年度から進めています。

### ○平成25年台風18号でも効果を発揮

昨年の台風18号の豪雨では、平成23年度までに供用を開始した北幹線第1・2・3号管渠において貯留率100%（約10万7千m<sup>3</sup>）の貯留を行い、周辺の浸水被害の軽減に大きな効果を発揮しました。

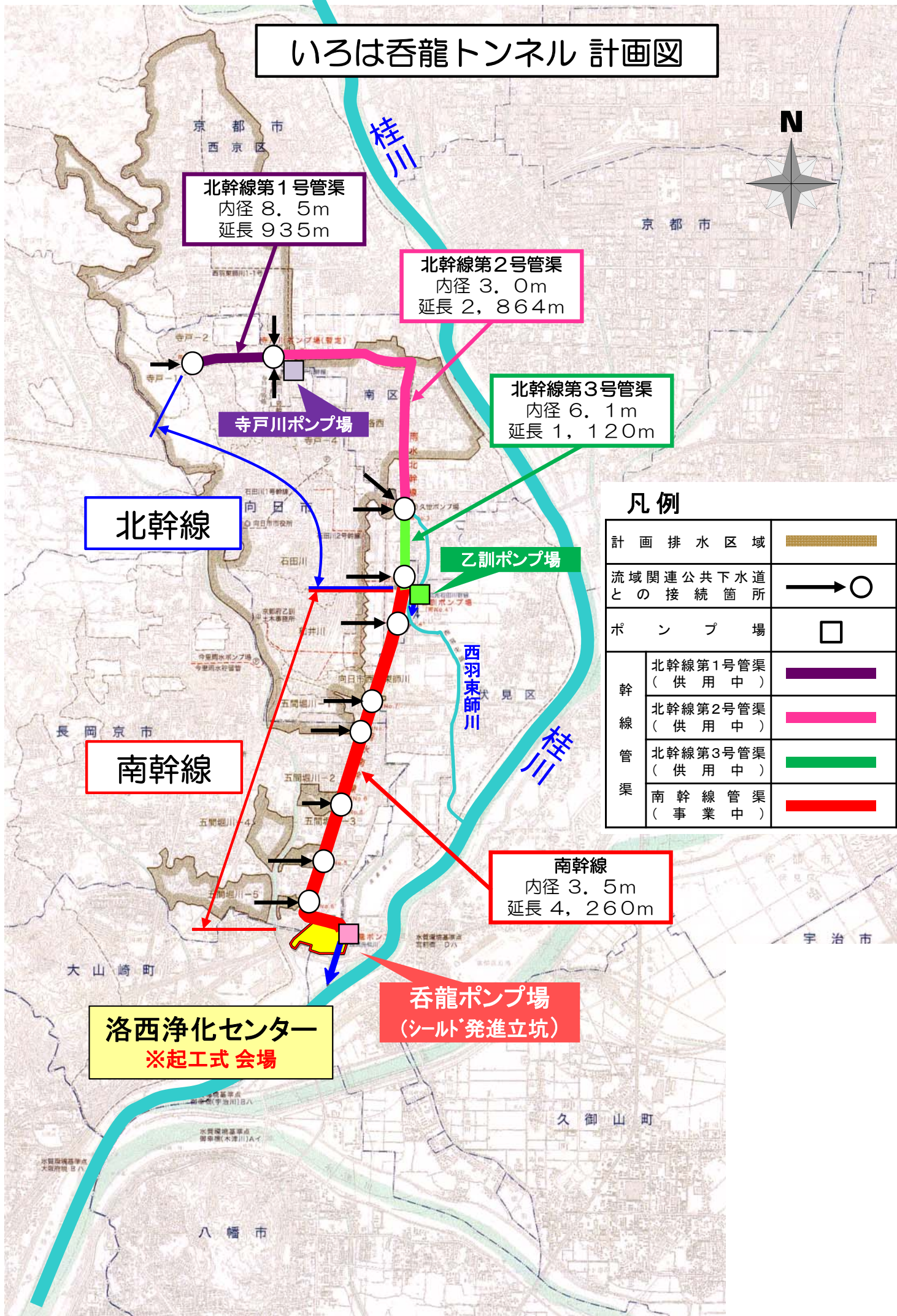
### ○南幹線の整備効果

雨水を取り込む区域を長岡京市域へ拡大するとともに、呑龍ポンプ場（洛西浄化センター内）から桂川へ常時放流することで北幹線の本来の機能が発揮され、現在の約2倍の雨水に対応できるようになります。





# いろは呑龍トンネル 計画図



北幹線第1号管渠  
内径 8.5m  
延長 935m

北幹線第2号管渠  
内径 3.0m  
延長 2,864m

北幹線第3号管渠  
内径 6.1m  
延長 1,120m

寺戸川ポンプ場

乙訓ポンプ場

北幹線

南幹線

南幹線  
内径 3.5m  
延長 4,260m

洛西浄化センター  
※起工式会場

呑龍ポンプ場  
(シールド発進立坑)

## 凡例

計画排水区域		
流域関連公共下水道との接続箇所		
ポンプ場		
幹線管渠	北幹線第1号管渠 (供用中)	
	北幹線第2号管渠 (供用中)	
	北幹線第3号管渠 (供用中)	
	南幹線管渠 (事業中)	